

GAH NEWS

荒川区民総幸福度
GAH-Gross Arakawa Happiness

RILAC

No.10
平成24年1月

公益財団法人
荒川区自治総合研究所



写真：荒川区立第二東日暮里保育園の子どもたち

荒川区民総幸福度 (GAH)とは

荒川区民の幸福度指標のこと。荒川区では、区民の皆さんの幸福度を数値化し、区政の指標とするため、現在、調査研究を進めています。

荒川区自治総合研究所の本「RILAC Library」

← GAHに関する本『あたたかい地域社会を築くための指標』（荒川区自治総合研究所編）第二版
子どもの貧困・会排除問題に関する本『子どもの未来を守る』（荒川区自治総合研究所編）→

全国の書店で絶賛発売中です！

平成23年11月 新刊

公益財団法人
荒川区自治総合研究所【編】

子どもの未来を
守る
子どもの貧困・会排除問題への
荒川区の取り組み

すべての子どもの
幸せのために

特別対談 阿部 彩 × 西川太一郎
国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部長 荒川区長 三省堂

本号では、
健康に対する考え方について
お知らせします。

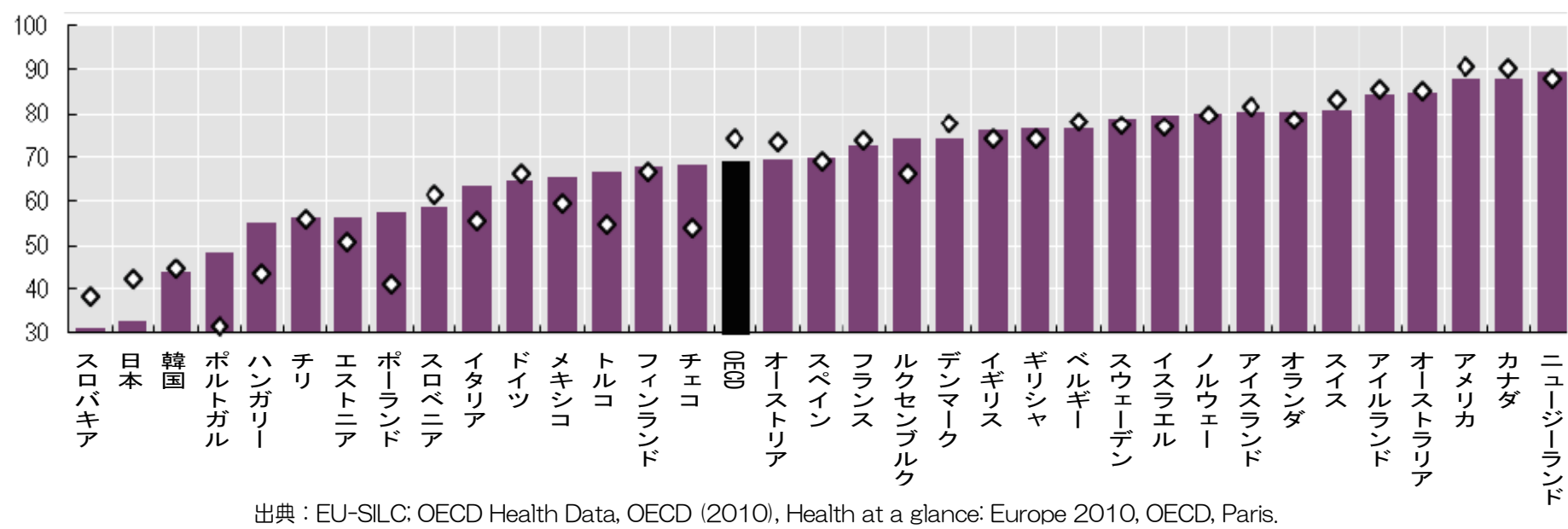


健康ってどういうこと？

当研究所は昨年8月に、荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピーネス：GAH）の研究に関する中間報告書を公表いたしました。中間報告書でも紹介していますが、GAHの指標案の1つとして、健康に関する指標案があります。健康に関する指標は、他の幸福度指標、例えば、OECD（経済協力開発機構）が昨年公表した幸福度指標「より良い暮らし指標」（“Your Better Life Index”）でも重要な要素として扱われています。

OECDの報告書によれば、2008年時点において、日本人の平均寿命は82.7歳、OECD諸国の中で最も長寿の国に位置づけられています。一方、「あなたの健康状態は全体的に見てどうですか？」という質問に対し、「健康である」と答えた日本人の割合は33%しかありませんでした。これは非常に低い数字で、OECD諸国の中でも下から2番目に位置づけられています。

図 健康に関する自己申告 *棒グラフは、2008年次あるいは2010年次のデータ。点は、1998年次のデータ。



つまり、客観的事実として日本人は非常に長生きであるのに対し、自分が「健康である」と思っている日本人の数は非常に少ないということです。では、荒川区ではどうかというと、平成22年度に行った区政世論調査結果によれば、自分は「健康である」と回答した人は、72.9%です。

以上のように「健康」と一言でいっても、その捉え方は、人それぞれのです。GAHでは、「健康」を「体の健康」「心の健康」「健康のための環境」という3つの構成要素に分類し、さらに、区民の皆さんのライフステージを「幼年期」「青年・壮年期」「高齢期」の3つに区分して、多様な視点から「健康」を捉えることができるようにいたしました。

区民の皆さんの「健康」、そして「幸福」については、今後も、区民の皆さんと一緒に、話し合っていければと考えています。

※報告書は、当研究所（区役所北庁舎3階）、区立図書館、区民事務所、情報提供コーナー（区役所本庁舎2階）で閲覧できるほか、当研究所ホームページ（<http://www.rilac.or.jp/>）でもご覧になれます。



編集発行 公益財団法人荒川区自治総合研究所
〒116-0002 東京都荒川区荒川2-11-1
TEL：03-3802-4861 FAX：03-3802-2592
URL：http://www.rilac.or.jp/

編集部より

本紙では、荒川区民総幸福度に関する最新動向やニュース等をお届けしていきます。左記のメールアドレスまで、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

荒川区自治総合研究所は、荒川区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に政策提言等を行うことを目的として平成21年10月に設立された機関です。